（様式１）

北海道高等学校
「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」
計画書

１　学校の概要

（「指定区分」及び「遠隔システムの有無」の欄は、該当するものに「○」を付すこと。また、学校の課程については、該当する課程を■とすること。）

指定区分	（推進校）　協力校				遠隔システムの有無	有　（無）	
学校名・(課程)	北海道　利尻　高等学校　・　（■ 全日制　・　□ 定時制）				校長名	阿部　穣	
住　所	〒097-0401　利尻郡利尻町沓形字神居189－１						
電話番号	0163-84-2215			代表ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	rishiri-z0@hokkaido-c.ed.jp		
生徒数	１年	２年	３年	４年	計	教員数	管理職　２名
（R1.5.1現在、[ ]はクラス数）	23名 [１]	27名 [２]	21名 [２]	名 [ ]	71名 [５]	（R 1.5.1 現在）	教科担当教諭計　17名 ※事務職員を除く

２　校内体制

道徳教育推進教師	担当教諭氏　名	成田　佳織	担当教科（科目）	家庭	分掌	生徒指導部
委員会等 ※推進校のみ記載（協力校で設置している場合は記載）	(1) 名称【ふるさと教育委員会】 (2) 構成員 山田美智子、宮本順一郎、松枝良純、阿部淳一、成田佳織、山田紗夕梨、枡澤和正、今井一穂、船田沙紀					

３　道徳教育に係る本校の現状と課題

(1) 現状
　人間としての在り方生き方に関する教育を、本校で行っている「ふるさと教育」を中心に、主として総合的な探究の時間や特別活動において、推進していること。
※「ふるさと教育」のねらい
　「『ふるさと利尻島』を愛し、誇りに思う気持ちと広い視野をもち、変化する社会の中でたくましく生きていく力をつける」
(2) 課題
　人間としての在り方生き方に関する教育を、各教科に属する科目を含めた学校の教育活動全体を通じて行うことにより、その充実を図っていくことが求められること。

４　本事業により期待される成果

(1) 本校の実践研究成果を全道・全国の高等学校に広く紹介することにより、本事業が意図する高等学校における道徳教育に係る教育活動の抜本的改善・充実に資することができると考えられること。
(2) 本実践研究を通し、本校の「ふるさと教育」をはじめとする教育活動全体の工夫・改善を図ることにより、本校における教員の指導力向上や校内体制の整備、地域における様々な活動の充実・発展等に寄与することができると考えられること。

5　評価指標

	調査項目	目標値	
学校生活アンケート	【項目11】 『自分と他者との違いを理解し、受け入れることができる』（最高値4.0）	１回目（７月）	２回目（12月）
		3.0	3.2
いじめ調査	【調査票１－１　中学生・高校生用7】 『いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか』 （「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合） （最高値100%）	95%	
学校評価	『生徒は自己の在り方生き方について考えることができるようになっている』（最高値4.0）	3.0	

6　事業計画

令和元年度	事業計画	備考
６月		
７月	学校生活アンケート調査（第１回）	
８月	地域や関係機関と連携した取組（インターンシップ）	
９月	単元配列表の完成	
10月	いじめの把握のためのアンケート調査	
11月	公開授業、外部講師等を活用した講演会	指導主事訪問
12月	学校生活アンケート調査（第２回）	
１月	道外視察	
２月	校内研修、道徳教育の全体計画の改善・完成	
３月		

7　成果の普及方法

(1) 道徳教育に関連する取組の学校ホームページへの掲載
(2) 研究授業及び講演会の外部公開

8　道教委に希望する支援

現在のところ特になし